

第 1902 回例会報告

令和 8 年 2 月 22 日(日)晴

◇会長告知◇会長 小口 直久

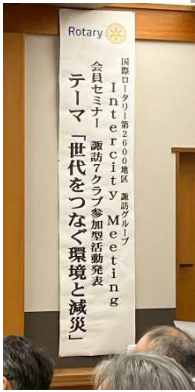
皆さん、こんにちは。
 まもなく諏訪グループ IM が開催されます。今年のテーマは「子育て支援と環境」、そしてサブテーマは「地域の未来のために」です。私たちロータリアンにとって、地域社会の未来を考える大変意義深い機会になるのではないかと思います。
 また、会員セミナーでは小林ガバナーのご意向により、「防災・減災」をテーマに各クラブから発表が行われます。当クラブからは、社会奉仕委員長の五味会員が発表を担当いたします。ぜひ皆さんで応援するとともに、各クラブの取り組みから多くを学び合う機会にしていだければと思います。
 さらに懇親会も予定されております。諏訪グループの仲間と親睦を深める良い機会でもありますので、ぜひ多くの会員の皆様にご参加いただき、IM を実りあるものにしてまいりましょう。
 それでは、皆さんで諏訪グループ IM を楽しみましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

小林磨史ガバナー
挨拶



金子ゆかり
諏訪市長祝辞





IMテーマ 「子育て支援と環境 ～地域の未来のために～」
 Rotary SUWAKO
 諏訪湖ロータリークラブ
 五味 弾

～森から湖までつなぐ防災・減災～

- 1 諏訪盆地の特性から考える防災・減災**
 私たちが暮らす諏訪盆地は、四方を山に囲まれ、その中央に諏訪湖が広がる盆地です。大雨が降ると、雨水は里山で受け止められ、川を通じて町へ流れ、最終に諏訪湖へと集まります。この自然の流れの中で、里山の荒廃や湖岸の埋め立ては、土砂災害や水害のリスクを高めます。私たち諏訪湖ロータリークラブは、「里山」と「諏訪湖」を一つのフィールドとして捉え、環境活動を通じた防災・減災の取り組みを行っています。
- 2 諏訪湖で学ぶ「防災の第一歩」**
 諏訪湖ロータリークラブでは、今期地域の小学生およそ140名とともに、「まるまるごみ調査」と諏訪湖清掃活動を実施しています。この活動は単なるごみ拾いではなく、どんなごみか、どこから、どれだけ残っているのかを、子どもたち自身が調べ、考える体験型学習です。大雨の降、ごみが氷結や排水口をふさぐことで洪水被害が拡大することもあります。湖をきれいにすることは、地域を守ることに繋がります。
- 3 中学生と取り組む里山整備**
 諏訪湖ロータリークラブは、地域の中学生とともに里山整備活動も行っています。下草刈り、ブナの雑草の伐採活動のネット張りなどを通して、子どもたちは里山の役割を学びます。手入れが行き届かない山では、大雨の湖に土が一旦二次流出し、土砂災害のリスクが高まります。一方、適切な整備された里山は雨水をゆっくりと蓄え、急激な流出を防ぐ天然のダムとしての役割を果たします。
- 4 人を育てる防災・減災**
 諏訪湖での清掃活動と、里山の整備活動。この二つのフィールド学習を通じて、子どもたちは地域の自然や地形、そして災害リスクを体感的に理解していきます。それは今すぐ役立つ知識ではありませんが、将来、地域を支える「防災の担い手」を育てる取り組みであると、私たちは考えています。

最後に…
 防災・減災は、特別な時にだけ行うものではなく、日々の暮らしぶりにあるものです。諏訪湖ロータリークラブは、諏訪グループの皆さまとともに「森から湖まで」をつなぐ学びの場として捉えた防災・減災の取り組みを、これからも広げたいと思っています。



五味弾会員が、会員セミナーで、当クラブが行う防災減災につながる事業を発表しました

◆懇親会◆

各クラブの紹介コーナー

当クラブは、小口会長が、参加した新入会員、五味弾会員、伊波夕美子会員、長岡明日香会員の紹介を行いました。

